

# ながの環境パートナーシップ会議

## 令和4年度通常総会 会議記録

日 時 令和4年7月4日(月) 午後6時30分から8時まで

場 所 長野市ふれあい福祉センター 5階 大ホール

出席者 出席者数89(出席者13+委任状76 会員数148)

※密にならないよう短時間で実施するため、委任状の提出等の御協力をいただいた。出席者にも消毒やマスク着用をお願いし感染拡大防止に努めて開催した。

### 1 開 会 事務局長 依田環境保全温暖化対策課長

定刻につき会員数、出席者数及び委任状の提出数が総会開催定足数を満たしているため、ながの環境パートナーシップ会議会則第25条の規定に基づき、総会は成立し開会する。

### 2 あいさつ 金井代表理事

例年になく早い梅雨明けで連日猛暑が続いており、地球環境という面では試練が与えられていると感じている。昨年度もコロナ禍で通常通りの活動が進めにくいなか、各プロジェクト工夫して活動してきた。環境団体大集合については、開催が難しいかと思っていたら、若い力をお借りし、オンラインで開催することができた。力強い支援をいただいたと同時に、今後継続していくにはどうすればよいか課題も出てきたと感じる。本日は昨年度の活動報告と今年度の活動計画の審議をよろしく願いたい。

### 3 議長選出 赤羽副代表理事

### 4 議事と主な意見・質疑等

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| (1)令和3年度活動報告について   | (事務局から報告)           |
| (2)令和3年度収支決算報告について | (事務局から報告)           |
| (3)令和3年度監査報告について   | (監事欠席のため事務局から代理で報告) |

[主な意見など]

会 員⇒ 資料17ページの事務局運営費No.75と77の項目がそれぞれ「生ごみ削減・再生利用」「市民の森づくり」となっている。「事務局運営費」が正しいと思うので修正されたい。

事 務 局⇒ ご指摘のとおり。修正させていただきます。

会 員⇒ 会員の人数が減少したのは2年以上会費納入のない会員の資格喪失手続きをしたからだということだが、会則を適用しているのか。

事 務 局⇒ 昨年会費徴収の際に各会員の納付状況を確認し、未納のある会員については、併せて納付するように通知を出した。それでも2年以上の未納の方については会則に基づき会員資格喪失の手続きを事務局で行った。

会 員⇒ 意思確認の方法について会則をどのように理解しているか。

代表理事⇒ 意思確認の方法は会則に明記はないが、今回改めて継続の意思があるか整理をすることとし、未納がある会員には資格喪失のことも含め、全会員に通知を出している。これまでも実施しており、方法に問題があるとは考えていない。

会 員⇒ 会則に書いていないなら、ここで整理するという考え方がおかしい。

代表理事⇒ 以後気を付ける。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

- (4) 令和4年度運営方針(案)について (金井代表理事から説明)  
(5) 令和4年度活動目標・活動計画(案)について (事務局、各チームリーダーから説明)  
(6) 令和4年度収支予算(案)について (事務局から説明)

[主な意見など]

会 員⇒ 運営方針(案)の内容が毎年ほぼ同じで、いつまでたっても実現しない。今年度は実現に向け頑張ってください。

代表理事⇒ ご支援ありがとうございます。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

(7) 役員(理事)の選任について

理事選任

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【新理事】(立候補順)

河西弘明、有金市隆、倉又保雄、赤羽和春、安塚譲治(長野市環境部長)

別室により理事会を開催 → 互選の結果、次のとおり決定

代表理事:河西弘明 副代表理事:赤羽和春、倉又保雄

監事選任

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【新監事】(立候補順)

小山勝宏、小林清一

(8) 自由討議～今後のP会議の活性化について～

[主な意見など]

進 行⇒ P 会議は課題をたくさん抱えている。理事も努力しているが、理事だけでは頭が固くなってくる。ここでは議事と離れて、皆さんからアイデアをいただきたい。そのアイデアをどう具現化するかは新理事にお願いして、今後の P 会議の発展につなげていければと思っていて。本当に思いつくままに、詳細なものでなくてもフリーで結構なので、ご意見をいただければと思う。

- ◆ 地区ごとの活動はそれなりにあるが、全体として長野市の環境活動と連動するものがあるべき。商工会議所と連携して事業者を巻き込んで活動できないか。市民の皆さんとも連携して、懇談会のような形で2～3か月に1回。盛り上がった話題をプロジェクトに育て上げるような仕組みで。
- ◆ 事務局の担当職員が2～3年で変わって一貫性がない。過去には各プロジェクトは市からの委託を受けてやっているという者もいた。また予算が特定のプロジェクトに偏ってはいないか。ゴミシジミ保護・育成は浅川地区、松代オオムラサキ

の里は松代地区の各住民自治協議会（住自協）と連携している。そのほかの住自協も環境に関する活動していると思うので、連携していけないだろうか。

- ◆ 当初 27～28 プロジェクトがあったのがここまで縮小してしまった。市からの負担金も 300 万円あったのが現在では 100 万円。生ごみチームは住自協と連携しているが、各活動ごとにいくらいただいているという形。自主財源を各チーム増やして、財源のないチームに配分なんて仕組みも考え方の 1 つ。
- ◆ 環境団体大集合では若い力を借りて、思いもよらない形で開催できたと報告があったが、若い世代が提案して行動できる仕組みがあるとよい。
- ◆ かつて高校生など若い世代に発表してもらった「環境活動コンテスト」を開催していたことがある。当時はいくつかの企業にも協賛についてもらっていた。あとはジェンダー問題。今日の会議に女性が誰もいない。環境分野では女性の活躍も目立つ。予算消化のためにやっている団体ではいけない。ゆくゆくは予算が 0 でも独立採算で運営できるような団体にしていくべき。
- ◆ 初めて参加したが、素晴らしい活動をしていると思う。ぜひ多くの人に知ってほしい。長野だからできることを広げて行ってほしい。事業者も環境意識を持っているのでぜひ巻き込んで行ってほしい。例えば、中小企業の CO2 排出量が見える化すると、より多くの企業が環境活動に興味を持ってくれるのでは。弊社は市新産業創造推進局や NASC と連携しているが、長野市は色々な部署が同じようなことをしている印象がある。これが合わされば大きな力になるのに。P 会議、事業者、行政の力を合わせ、いい方向に進んでいければ。
- ◆ ヒントになる話がたくさん出た。ご存じのとおり P 会議は縮小傾向。視線を外に向けて事業者等との連携を探っていければ。学生が環境をテーマに起業している例も聞く。そういったところともつながっていきたい。今後も発展的に考えて行きながら、P 会議も盛り上げていければと思っている。

5 閉 会 事務局長 依田環境保全温暖化対策課長  
閉会を宣言し、散会した。